

## 令和5年度学校評価書（自己評価）【教職員】

評価基準 4：充分 3：適当 2：不充分 1：要検討

上段：今年度  
下段：昨年度

分野	評価項目	達成状況	取組の適切さ
教育目標 重点目標 経営方針	(1) 学校教育目標等について、教職員の共通理解が図られている。	3.3	3.4
		3.4	3.5
	(2) 学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	3.5	3.6
		3.4	3.4
	(3) 経営方針を十分に理解し、実現に向けた取組が行われている。	3.6	3.5
	3.4	3.4	
	(4) 教職員の働き方改革を推進するための取組が行われている。	3.7	3.8
		3.3	3.4
学習指導	(5) 生徒の実態や学科の特色を生かした教育課程の編成に努めている。	3.9	4.0
		3.4	3.5
	(6) 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	3.6	3.7
		3.4	3.5
	(7) 学習意欲を高める教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	3.3	3.4
		3.1	3.5
学習指導 専門教科	(8) 各学科の授業内容や取組について、情報提供やPRが十分に行われている。	3.5	3.6
		3.2	3.4
	(9) 各学科の授業内容で、基礎基本をもとにした専門教育が展開されている。	3.9	4.0
		3.5	3.5
	(10) 実験・実習において、機械器具等の使用について適切な指導がなされ、安全教育の徹底が図られている。	4.0	4.0
		3.6	3.6
生徒指導	(11) 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重に努めている。	3.6	3.6
		3.4	3.4
	(12) 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	3.6	3.7
		3.3	3.4
	(13) 一人ひとりの生徒を大切に、多面的理解に基づく指導の充実を図っている。	3.8	3.9
		3.5	3.5
いじめへの対策	(14) 家庭や職員間の連携を図り、未然防止・早期発見に向けた観察や教育相談を推進している。	3.6	3.8
		3.5	3.5
学校行事課外活動	(15) 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	3.7	3.8
		3.4	3.5
	(16) 部・局・同好会の活発な活動を推進している。	3.2	3.3
		3.0	3.3
	(17) 活発な委員会活動を推進している。	3.2	3.3
		3.2	3.4
	(18) 地域や学校の特色を生かした学校行事が行われている。	3.7	3.7
		3.4	3.4
進路指導	(19) 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てている。	3.3	3.5
		3.4	3.4
	(20) 体験的、実践的な学習を通して、望ましい勤労観、職業観を育成している。	3.8	3.8
		3.4	3.5
	(21) 地域・家庭と連携した、個に応じた進路指導業務の充実を目指す。	3.5	3.7
		3.5	3.5
健康安全指導	(22) 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	3.6	3.7
		3.4	3.5
	(23) 生徒の生命安全を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	3.7	3.8
		3.5	3.5
	(24) 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	3.9	3.9
		3.5	3.6
研修	(25) 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	3.1	3.2
		3.4	3.5
組織運営	(26) 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	3.4	3.4
		3.4	3.5
	(27) 地域との連携や教職員間との連携から学校行事等の円滑な運営を図っている。	3.5	3.6
		3.2	3.5
保護者、地域住民等との 連携	(28) P T A活動・同窓会活動の促進に努める。	3.3	3.5
		3.3	3.4
	(29) 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	3.8	3.8
		3.4	3.4
	(30) 家庭や地域社会等との連携を密にして、共に生徒を育てていく環境づくりに努めている。	3.5	3.6
	3.4	3.4	
	(31) ボランティア活動や地域行事へ積極的に参加し、家庭や地域の期待に応えている。	3.8	3.8
		3.4	3.6
	平均	3.6	3.7
		3.4	3.5